



第2回都市再生整備計画事後評価委員会

雀宮地区の事後評価について

平成30年1月30日

建設部 道路建設課

住めば
愉快だ
宇都宮

1



(1) 地区のまちづくりの経緯について

住めば
愉快だ
宇都宮

2

地区のまちづくりの経緯について

【 当初計画（平成24年3月） 】

事業	事業名	内 容
道路	市道704号線	道路改築 延長315m 幅員11m
	市道713号線	道路改築 延長290m 幅員11m～幅員14m
高次都市施設	地域コミュニティセンター	地域コミュニティセンターの整備
地域創造支援事業	魅力ある景観づくり事業	魅力ある都市景観づくり整備費 補助金事業
	雀宮地区市民センター改修事業	エレベーター設置等

住めば
愉快だ
宇都宮

3

地区のまちづくりの経緯について

【 第1回計画変更（平成25年2月） 】

・事業規模の変更

事業	事業名	変更前	変更後
道路	市道713号線	延長 290 m	延長 426 m
地域創造支援事業	雀宮地区市民センター改修事業	規模 173.12 ni	規模 1688.12 ni

住めば
愉快だ
宇都宮

4



地区のまちづくりの経緯について


【 第 2 回計画変更（平成 2 6 年 3 月）】

・ 事業期間及び事業費の変更

事 業	事業名	変更前	変更後
道路	市道 7 1 3 号線	事業期間 H24～H25 事業費 2 1 0 . 2 百万円	事業期間 H24～H26 事業費 2 2 1 . 1 百万円

住めば
愉快だ
宇都宮

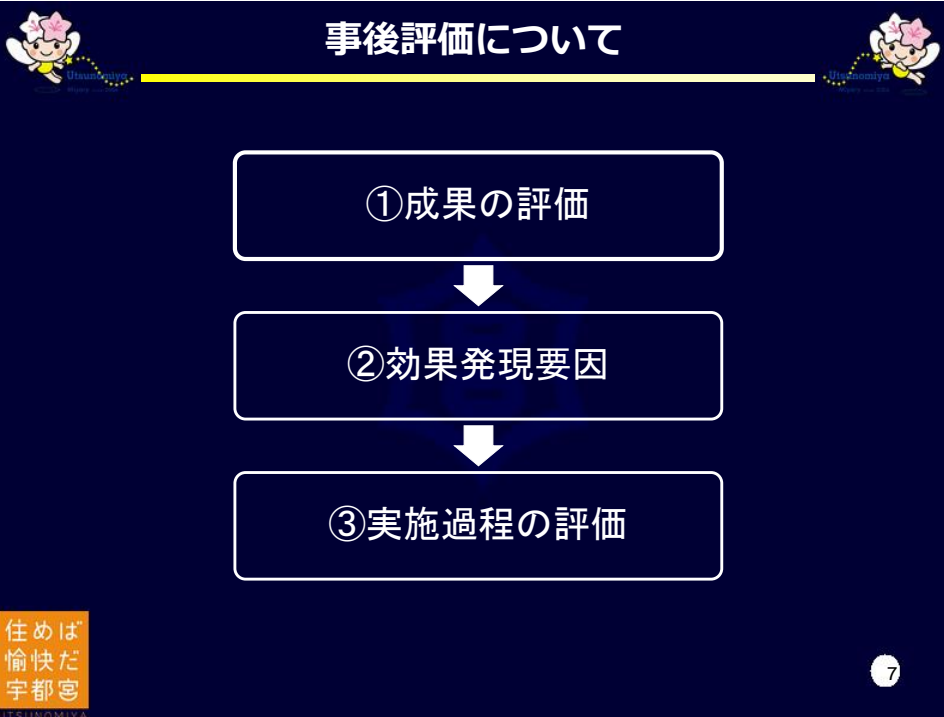
5



(2) 事後評価について

住めば
愉快だ
宇都宮

6



①成果の評価について

【成果の評価】

「目標を定量化する指標」の達成状況や、これ以外に事業による効果が発現しているものを「その他の指標」として、その達成状況を評価する。

さらに、定量的に評価できない定性的な効果が発現している場合についても評価するもの。

住めば
愉快だ
宇都宮
ITSUNOMIYA

8



②効果発現要因について



【効果発現要因】

数値目標等の成果の評価だけでなく、効果をあげた成功要因等について、今後のまちづくりに活かすために分析するもの。

住めば
愉快だ
宇都宮

9

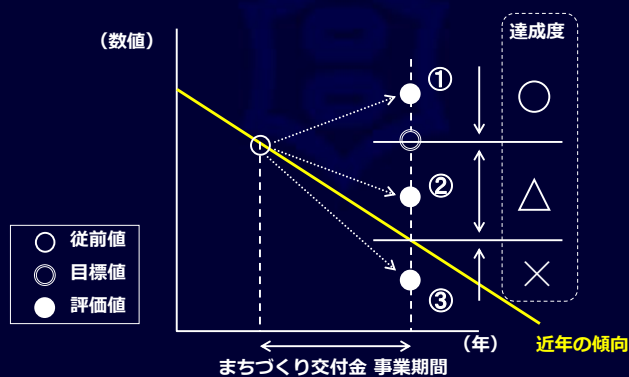


①成果の評価について



評価判定基準

評価の基準	達成度
① 評価値が目標値を上回った場合	○
② 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合	△
③ 評価値が目標値には達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合	×

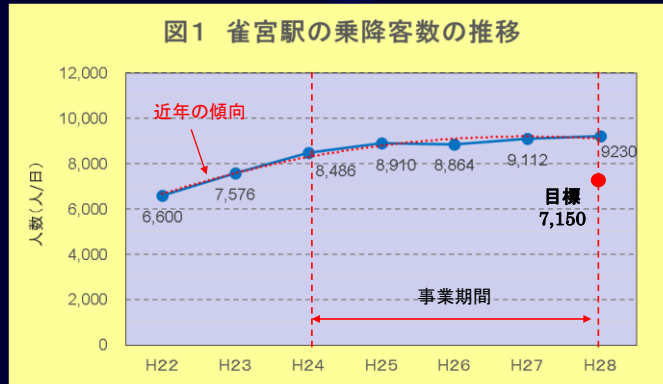


住めば
愉快だ
宇都宮

10

【指標1：雀宮駅の利用者数（雀宮駅乗降客数）】

指標	単位	従前値 (H22)	目標値 (H28)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
乗降客数	人/日	6,600	7,150	9,230	○	—

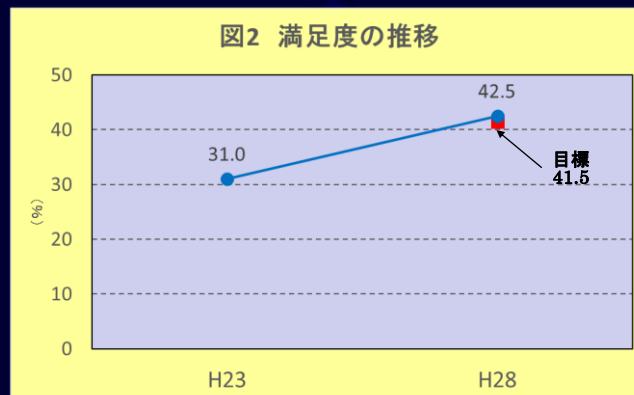


出典：東日本旅客鉄道株式会社HP

住めば
愉快だ
宇都宮

【指標2：まちの快適な空間に対する満足度】

指標	単位	従前値 (H23)	目標値 (H28)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
アンケート満足度	%	31.0	41.5	42.5	○	—



出典：第44回市政に関する世論調査（平成23年）
第49回市政に関する世論調査（平成28年）

住めば
愉快だ
宇都宮

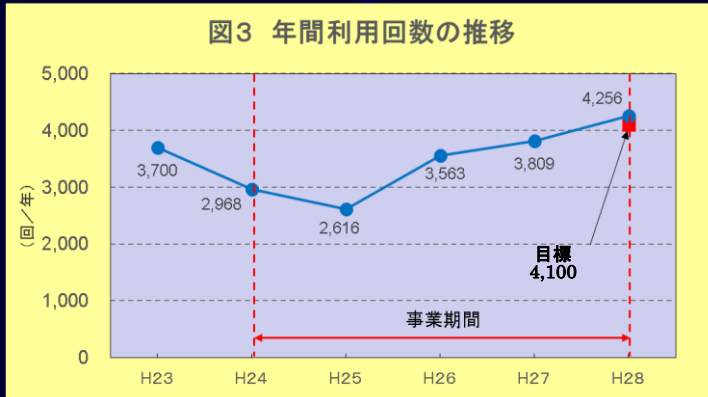


①成果の評価及び②効果発現要因について



【指標3：五代若松原地域コミュニティーセンター等年間利用回数】

指標	単位	従前値 (H22)	目標値 (H28)	評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み
年間利用回数	回/年	3,700	4,100	4,256	○	—



出典：みんなでまちづくり課，自治振興課

住めば
愉快だ
宇都宮



①成果の評価及び②効果発現要因について



【定性的な効果発現状況】

- 国道4号をはじめ，県道雀宮停車場線などの道路整備が進捗し，駅周辺における高質な空間づくりと景観形成が実現されつつある。
- 都市再生整備計画事業による雀宮駅周辺の都市基盤や公共施設が整備されたことを契機に，それらの施設を活用した様々なイベントが開催され雀宮地区をはじめとする市南部地域における住民主体のまちづくり活動や，住民間の交流の活性化が図られている。

住めば
愉快だ
宇都宮



③実施過程の評価について



■ モニタリング

実施なし（都市再生整備計画において予定していなかったため）

■ 住民参加プロセス

- ・ 雀宮地区まちづくり推進協議会（事業に係る協議・連携）
- ・ 五代若松原地区まちづくり推進協議会（事業に係る協議・連携）

■ 持続的なまちづくり体制の構築

- ・ 地元まちづくり協議会（まちづくりに関する意見交換，活動の支援）



(3) 今後のまちづくり方策について





今後のまちづくり方策について



【まちの課題の変化】

- 地区住民の生活や生涯学習の活動を支える基盤が整備されたことにより、地域の核となる拠点が形成された。
- 新たな五代若松原地域コミュニティセンターの整備や雀宮地区市民センターのバリアフリー化等を実施したことにより、地域活動を支える拠点の利便性や安全性の向上が図られ、地域主体のまちづくり活動が着実に増加している。
- 雀宮駅周辺地区における交通結節機能の強化を図るため、駅周辺の道路整備において、市道713号線が完了し、そのほか、国道4号をはじめ、県道雀宮停車場線、市道704号線などの道路整備が着実に進捗している。

住めば
愉快だ
宇都宮

17



今後のまちづくり方策について



計画の大目標

「地域交流拠点である雀宮駅周辺地区の
交通結節機能の強化と
地域活動が活発な魅力あるまちを形成する。」
のさらなる実現に向けて

1. 地域核拠点となる施設の一層の利用促進
駅周辺道路や鉄道などの交通ネットワークを活かしながら、地区市民センター等の公共施設におけるイベントやまちづくり活動等の継続的な活動の場の提供や支援。
2. 住民のまちづくり活動の支援
地域住民組織等と連携・調整を図りながら、地域が一体となったまちづくり活動に対して、事業実施に向けたサポートなど様々な形での支援。
3. 駅周辺の基盤施設の継続的な整備の実施
周辺道路（国道4号や県道雀宮停車場線等）と一体となった円滑な交通ネットワーク体系の構築に向け、市道704号線の着実な整備。

住めば
愉快だ
宇都宮

18